

プロダクション部会 ご報告資料

平成21年7月15日



WGの設立について

プロダクション部会も検討議題をより明確にし、より具体的な取り組みをしていきたいと考え、WGを新設することとなりました。

WG名	概要
1. アワードWG	・第1回デジタルサイネージアワードの開催
2. 権利処理WG	・各種権利処理の勉強会 ・各権利者団体との交渉
3. コンテンツ演出WG	・デジタルサイネージ特有の演出手法の検討 ・他部会との連携による検証

著作権勉強会(概要)について①

コンテンツの権利処理に関連する課題整理にあたり、音楽著作権勉強会を開催いたします。

課題①:ソフト面の課題

映像・音等に関連した各種権利処理について、権利者団体と各社個別に対応している実情がある。

⇒今後、以下のステップで対応していく。

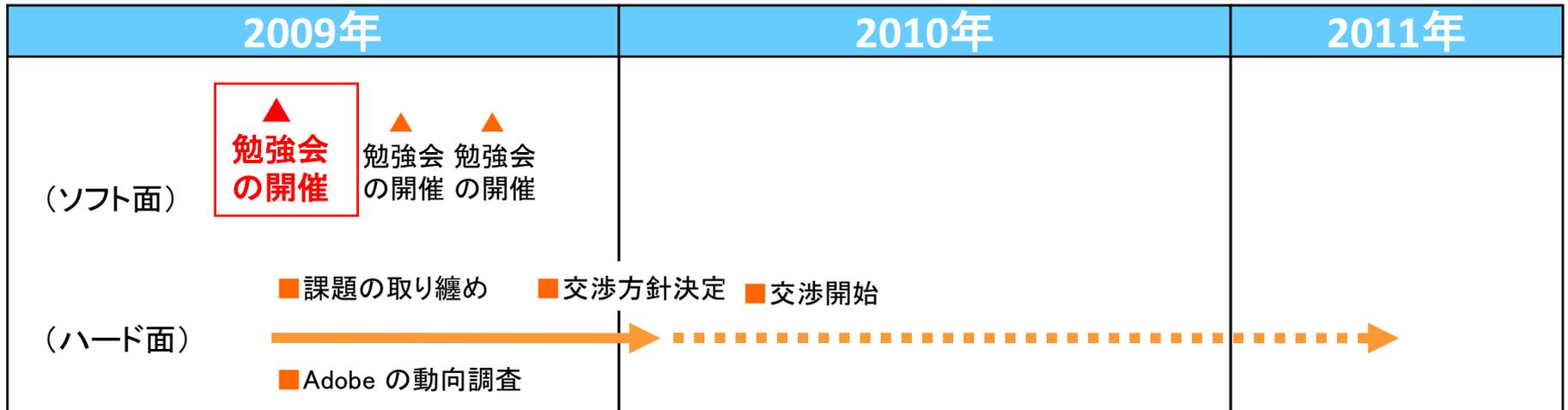
- ・ステップ1:勉強会の開催により、知識量を増やす。
- ・ステップ2:現状でどのような課題があり、どのように解決したいのか明確にする。
- ・ステップ3:実際に各種権利団体と交渉を開始する。

課題②:ハード面の課題

某ソフトウェア会社がデジタルサイネージのコンテンツに対し課金プラットフォームを構築するという噂あり。

⇒当面は情報収集を実施する。

※現在、日本ではコンテンツ制作における特定のソフトウェア会社への依存率が約90%となっており、そこに目を付けたものと想定されるが、具体的なアクションはないことから、まずは各ソフトウェア会社の動向の情報収集からスタートする。



著作権勉強会(概要)について②

音楽著作権勉強会の開催概要は、下記のとおりとなります。

概要

- ・2009年8月下旬から隔週で3回程度、定例勉強会とは別途開催予定。
- ・会場は慶応大学三田キャンパス。
- ・会員限定で受講料は無料。

講師略歴

■講師 森川 卓夫(もりかわ たくお)

同志社大学卒業後、コロムビアレコードの制作ディレクターとしてジャズのデジタル録音などを行う。後に国内制作部門長、(株)ワーナーミュージック・ジャパン法務部長を経て、現在は音楽著作権分野を専門とする音楽ビジネス・コンサルタント。金沢工大大学院知的創造システム専攻修了。

■論文・著書・講義・発表

- ・論文:「レコードのゆくえ～音楽商品流通の変化を追って」(季刊「音楽文化の創造」2005年7月・(社)音楽文化創造)「知財とは? 音楽著作権とは?～その歴史と概要 はやわかり」(同誌2005年1月)、「音楽著作権と音楽メディア」(「環太平洋圏経営研究No.4」2003年・桃山学院大学総合研究所)、など
- ・著書:「ヴィジュアル系の時代 ロック・化粧・ジェンダー」(共著2002年・青弓社)
- ・講義:「環太平洋地域における音楽著作権の流通と諸問題」(2003～2008年・桃山学院大学大学院「環太平洋経営研究」)、「ヒット曲にみる関西一歌の三都物語」(2008年11月・桃山学院大学・啓明大学国際セミナーおよび講義)、「ポピュラー音楽理論」(2006年前期～隔年開講・世界ポピュラー音楽史)東京学芸大学)、「日本の音楽ビジネス 現場の視点から～音楽著作権ビジネスの広がり」(2005年5月・東京経済大学 特別企画講義2回)、多摩市民塾「20世紀ポピュラー音楽の歩み」(1997年10月～98年3月)など
- ・発表:「レコードの還流防止措置と著作権法の諸問題」(日本ポピュラー学会2004年度第16回大会・東京芸大)など

【第8回プロダクション部会】

■日時 : 平成21年7月30日（木） 16:00～17:30

■場所 : DSC事務局（赤坂）

■議題 : ① WGのリーダーのご紹介
② WGの活動内容について
③ 他部会との連携について